

学生相談室・スポーツカウンセリンググループだより



.....

厳しい暑さからようやく解放されつつある 9 月下旬、いよいよ後期授業が始まります。新たな時間割で展開されていく授業を、生活の中心に位置づけるためには、気持ちを切り替えることが必要かもしれません。クラブ活動やアルバイトなど、夏の間をめいっぱい取り組んでいた事を、そっと心の脇に置くためには、自分にとっての授業の意味を再確認することが有効かもしれません。

大阪体育大学は、教員免許の取得を目指す学生が多い大学です。どうして教員免許を取ろうとする学生が多いのか。その理由として、スポーツに取り組むことと、教育に取り組むことに、深い共通点があるからではないか、と感じています。

そのように感じる理由の一つに、「アイデンティティ」という言葉を創ったE・H・エリクソンという心理学者の次のような言葉があります。彼は、教育が生き生きしたものになるために、教師と生徒には次のような“関係”が必要だと言っています。

「相手の能力や可能性を引き出そうとすることが、同時に自分自身の能力や可能性を引き出すことになるような関係」

この文章は「ONE for ALL, ALL for ONE」というラグビーの精神と、どこか似ていると思いませんか？ラグビーだけではなく、スポーツに取り組むなかで身に付けてきた精神こそが、教育者として生きることを目指させるのではないか。後期開始に向けて、みなさんの心にある「初心」を、そんな風に思いめぐらせてみてはいかがでしょうか。

大阪体育大学学生相談室・スポーツカウンセリンググループ

✉ mental@ouhs.ac.jp

☎ 072-453-8936